

池田市公益活動促進協議会の事業および成果と課題

池田市公益活動促進協議会(トアエル) 谷田

I 事業概要

1. 基盤的事業

事業名	内容	<池田市> 指定管理、 委託	<池田市> 補助金 助成金	自主事業
(1) 公益活動促進センター管理運営	公益活動促進のための貸室等、施設の管理・運営、公益活動に関するチラシの配架等の普及啓発	○		
(2) 公益活動団体事務	団体登録、団体登録事項変更、登録団体活動内容報告、助成金申請などの受付、書類作成支援、登録可否に関する意見具申や助成金に対する提言	○		
(3) コミュニティセンター管理運営	貸室の受付等、施設の管理・運営	○		
(4) 届出団体の受付	今後、団体の設立や活動の活性化に向けて取り組む個人、団体の届出を受付、各種支援サービスを提供する。			○
(5) 事務代行	団体の郵便受取、電話受信、ファックス受信、イベント参加申込受付等を代行する。			○
(6) 印刷代行	コピー、大量印刷、大判印刷などを代行する。			○
(7) ロッカー賃貸	センター内のロッカーの賃貸			○
(8) 物品レンタル	プロジェクター、スクリーン、ノートPC、ビデオカメラ、ワイヤレスマイクセットなどのレンタル			○
(9) 公益活動団体等への助言	団体の設立、活動場所の確保、運営、広報手段、イベント開催方法などに関する相談を受けている。			○
(10) 顕彰事業	当会の設立周年事業において、公益活動の促進に寄与した団体や寄付者に対して表彰を行っている。			○

2. 広報、ネットワーク事業

事業名	内容	<池田市> 指定管理、 委託	<池田市> 補助金 助成金	自主事業
(1) 情報誌「トアエル」の発行	公益活動団体紹介や団体の実施するイベント情報、当会情報ほか団体に有用と思われる情報を掲載したものを4月、7月、10月、1月に季刊発行・配布。		○	
(2) メールマガジン	メールマガジン登録者に対し、公益活動団体等のイベント情報、助成金情報などを発信		○	
(3) Facebookによる情報発信	当会Facebookページにおいてイベント開催情報、団体支援情報などを発信。		○	
(4) Webサイトの運営	当会Webサイトにおいて当会およびセンターの基本情報、登録・届出団体情報、様式集(池田市および当会)ほか、支援メニュー等を紹介。			○
(5) トアエルカレッジ	池田のまちづくりや市政に関する講座、団体活動の運営に有益な情報が得られる講座、団体間の交流につながる講座等を実施。		○	
(6) トアエルマーケット	公益活動団体によるフリーマーケット、模擬店当を通じた資金調達、体験コーナー、ステージ発表等による団体の認知度向上を目的とした屋外イベント		○	
(7) トアエル文化祭	コミュニティセンター全館を活用した公益活動団体およびセンターやトアエルという場と役割の認知度を高める、体験型のイベント		○	

3. その他の自主事業、ネットワークへの参画

(1) まちなight

(人・もの・コト研究所、Code for IKEDAとの共催)

まちのことを自分事として活動する方や、これから活動しようとする方が気軽に交流できる場を提供することを目的として始まった、地域メディア型まちづくりコミュニティ。池田市で活躍する人を招いた分野横断の異業種交流トークイベント。



(2) 北摂NPO・ソーシャルビジネス支援緊急補助金プロジェクト (北摂各市のセンター運営団体との共催)

コロナ禍の中、「特別定額給付金を地域に活かしたい」という声を受け、広く寄付を募り、市民公益活動団体や事業者が行っていた社会的事業に補助する。

(3) まちの遊学舎「里山あそび隊」

(今年度は文部科学省委託事業として実施)

池田市の歴史や文化、五月山や猪名川など恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、また、地域への愛着を醸成することを目的に、市内の公益活動団体と協働して、子ども達に様々な自然体験プログラムを提供している。



(4) 大阪大学留学生ホストファミリープログラムへの協力

大阪大学が実施する留学生ホストファミリープログラムの池田市における受け入れ家庭の募集等に協力。

(5) ネットワークへの参画

- ① KNN(関西NPO支援センターネットワーク)
- ② 北摂地域市民活動支援センター交流会

II 成果と課題

1. 広報活動

認知度向上(ブランディング)事業や情報誌の刷新、Webサイトの改定、FBなどSNSの活用、メールマガジンの発行など、デザインの向上や多様な情報発信ツールを通じて、センターおよび当会の認知度の向上に努めた。更なる情報発信力の向上が望まれる。

2. 公益活動団体の発掘・育成 | 助成金活用会議 → いけだんち →ママが働きやすい社会研究会→地域雇用の創出

地域で活躍する個人・団体に声をかけ国の助成金の活用を考える会合をもち、それぞれが実施したい活動と協力し合えることを検討する中で、多様な方々の交流の場を提供する「いけだんち」が立ち上がった。

いけだんちのママメンバーの「一度離職すると職場でパソコンの電源を入れるのも怖くなる」の一言から、トアエルラボ「ママが働きやすい社会研究会」を企画。

議論していく中で、単なる研究会に終わらせず、社会実験としてトアエルで勤務することを提案し、現在では貴重な戦力になっている。また、お腹の大きなママスタッフのために駐車場を無償提供いただくなど近隣企業の協力が得られた。

3. 企業連携

以前、市内の企業が池田市にどのような社会貢献が行えるかお互いの企業の取り組みなど情報交換しながら検討する会を持っていたが企業の担当者の異動などにより立ち消えになっ

た。

現在、3(1)「まちナイト」事業を通じて、事業者への広報や情報収集、ネットワーク作りを行っている。

4. 学生とのコラボレーション

大阪大学留学生ホストファミリープログラムへの協力など間接的な支援はあるものの、直接的な支援やコラボレーションはまだないが、長く学生と商店街の活性化に取り組んできた方を理事に迎え、具体化を検討している。

5. 地縁組織への支援

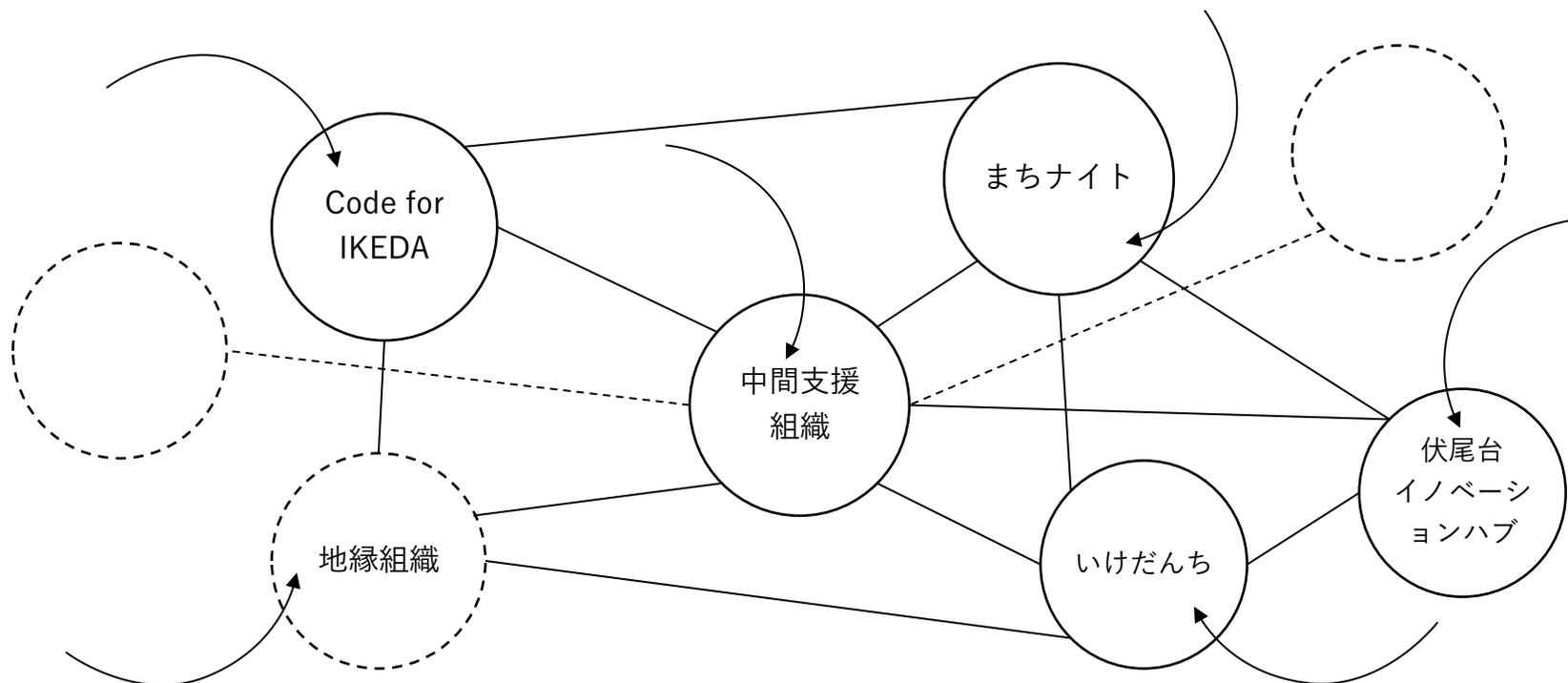
地域コミュニティ推進協議会の代表が集まる市主催の会合への出席、同協議会のうち2つが登録団体であり相談を受けることや同協議会の会合で登録団体の仕組の説明、情報誌「トアエル」への(一社)伏尾台コミュニティに関する記事掲載などの実績はあるが、具体的な支援にはつながっていない。

6. 社協・ボランティアセンターとの連携

社会福祉協議会とボランティアセンターの特集記事を情報誌「トアエル」において掲載した。当会との交流会の実施を社会福祉協議会に打診していたが企画がまとまらないうちにコロナ禍となり実施できていないが、折りを見て開催したい。

III 最近考えること

1. やりたいコト・抱えている問題が持ち込まれ、みんなで実現・解決できる場、コラボレーションの創出



2. 中間支援施設に指定管理制度は馴染むのか

- 人と人、人と活動をつなぐ役割・・・人間関係を継続的に蓄積していく必要(市民活動者のかかえる担当者異動問題)
- 雇用の安定